

2025年9月1日
スカイマーク株式会社

「野菜の日」×BC831便(茨城-福岡線)イベントについて

茨城県とスカイマーク株式会社(以下:スカイマーク、本社:東京都大田区、代表取締役社長執行役員:本橋^{もととし}学^{まなぶ})は、8月31日(日)BC831便 茨城ー福岡線にて、8月31日の「野菜の日」にちなんだイベントを実施し、ご搭乗いただいたお客様に記念品をお渡ししました。

スカイマークでは、茨城県の特産品を通じて地域の魅力を発信するため、茨城県およびJA全農いばらき、JAなめがたしおさい、第一生命保険株式会社と共同でこの取り組みを実施いたしました。



左から、冷凍焼き芋(紅優甘(べにゆうか))、さつまいもかりんとう、いばらキッスのいちごグミ



茨城空港でのセレモニーの様子



ご搭乗時の記念品配布の様子

左からスカイガイド、茨城県営業戦略部 県産品販売課長 榎村 裕章様、

当社執行役員 マーケティング本部長 北見 崇、

JA なめがたしおさい 営農経済部長 羽出 道雄様

小学生向けの食と健康に関わるワークショップ「やさいの学校in茨城空港(食育×健康ワークショップ)」を行いました。食用油を活用した環境に優しい燃焼燃料(SAF)の紹介や機体見学、野菜の摂取量を測定するベジチェック、さつまいもの育て方の紙芝居詰め放題などお子様にも楽しく学べるワークショップとなりました。



やさいの学校in茨城空港(食育×健康ワークショップ)の様子

また8月30日・31日には、「野菜の日」マルシェinイオン八幡東店を開催。茨城県食材の販売フェアとして、全国で大きなシェアを占めるサツマイモやレンコンのほか、真夏にピッタリの冷凍焼き芋・旬を迎える梨「豊水」などを販売いたしました。



「野菜の日」マルシェinイオン八幡東の様子

スカイマークは、これからも安全確保を全ての基盤とし、安心かつ高い運航品質とシンプルで心のこもったサービスを身近な価格でご提供、路線ネットワークの維持・拡大による人流・物流の拡大と就航地の魅力発信を通じて、就航地の発展に貢献します。

以上

(ご参考) スカイマーク「空で味わう就航地」について



スカイマークでは機内サービスのコンセプトを「空で味わう就航地」とし、就航地の機内ドリンクの提供や、お菓子の販売を行っています。

茨城県からは「さし茶」を、機内ドリンクとして提供しています。

スカイマークの茨城空港発着路線概要

路線	運航便数 (2025年度夏ダイヤ期間: 2025年3月30日～2025年10月25日)
茨城＝神戸	3往復6便/日
茨城＝札幌(新千歳)	2往復4便/日
茨城＝福岡	2往復4便/日 ※ 6月20日～9月30日の期間は1往復2便/日
茨城＝那覇	1往復2便/日

スカイマークについて www.skymark.co.jp/

スカイマークは、1998年9月19日に羽田＝福岡線で就航した航空会社です。日本の航空業界における規制緩和により誕生しました。機材はBoeing737-800型機(177席)を29機使用し、国内12空港24路線※季節定期便を含むを運航しています。安全確保を前提に、高い運航品質とシンプルで心のこもったサービスを身近な運賃で提供する独自のビジネスモデルを追求し、公益財団法人日本生産性本部サービス産業生産性協議会が公表するJCSI(日本版顧客満足度指数)調査では、新幹線を含む国内長距離交通部門における「顧客満足第1位」を、2020年度、2022年度、2023年度および2024年度の4度にわたり獲得しています。

スカイマーク品質。

